

R-18

Adult Only

Wriothebeley × Neuvillette

Unrequited Passion


アンリクワメテッド・パッション

Presented by INVINCIBLE.
Genshin Impact unofficial fanbook

魔神任務4章5幕後古龍の権能を完全に取り戻したヌヴィレットが
同時に妊娠能力も得てしまってリオセスリに
発情するようになっちゃう話です。


妊娠能力を得ているので当然のように男性妊娠ほのめかす描写あり。
時系列的に4章5幕後ですが、ネタバレは無いです。

あとリオセスリがヌヴィレットの正体を知っています。
若干の流血有り。



フォンテーヌ廷
パレ・メルモニア
貴賓室

パレ・メルモニアでの月例会議の後、
俺とヌヴェイレットさんの間では、
いつの間にか決まって
お茶するのが習慣になっていた。



最初は、ヌヴェイレットさんから
声を掛けてもらったのがきっかけだった。
目的は不明だが、最も対等に話せる相手として
俺は都合がいいらしい。



この国の最高審判官と
その様な機会を得るなど

これ以上の
ビジネスチャンスは
そう簡単に
得られるものではない。



こうしてじっくり見ると
思うが…

本当に綺麗な人だな！
何も頭に入ってこない。



あんたにも、
色恋話とかあるのかな、
とふと気になってね、



最高審判官という
地位があれば、
多くの女性から
言い寄られても
何も不思議じゃない
だろう。



どうした、
リオセスリ殿。
紅茶が口に合わなかったか。
水以外は疎い故、
申し訳ない。

あ、いや…

無いな。

寧ろ、私の立場は
人を遠ざける事に
役立っている。

そもそも私自身が、
この立場の公平性の遵守の為に、
私的な関係を持つことは
避けている事は君も知っていますよ。

愚問だったな。

まあ、俺も
異性と何度か寝た
経験はあるが、

恋愛と言える様な
経験では無かった
しな。

そんな事に
うつつを抜かせる程の
余裕は無かった。
恋愛感情でもんは
よく分からんな。

君も突然、
そんな事を話題に持ち出す
とは珍しいな。
この場合は公務中では無い故、
特に問題はないが。

全く、
その通りだな。
俺も恋愛には興味は無い。
けどな、ヌヴェレットさん。
あんたの顔を見ていたら余りにも綺麗で
「ああ、俺がもし乙女だったら、
危うく惚れてしまったかもしれな
い。」
と思っただ。



そんな風に
私のことを見ていたのか。

君は…

……



俺は
男には興味無いよ。

あ、いや。
今のは冗談だよ。

こ
こ



でも、

それでもあんたはやっぱ
特別だな。

性別云々はさておき、
あんたの美貌には
つい魅入られてしまう
ものがある。

そうか…



それは：
どういう事だ。
あんたに限って、
そんな事あると思えんが。



だがりオセスリ殿、
私も最近、似た様な事を
考えたことがある。

実は私も、
君の事を考えると少し、
不思議な感覚を覚えるんだ。



失礼ながら…
君の事を考えながらすると…
とても、気持ちが悪くて…
私は…君の事が好きなのだろうか。

少々、恥ずかしい話なのだが、
此処最近、度々己の興奮を抑えられない
時があるんだ…
今迄生きてきて、そういった
経験は初めて故、
自分の体の事ながらどうすれば良いか。
下半身が余りにも疼くので、
その度に自分で慰めて
対処してはいるが…



あんたでも自慰とか
するんだな…

いや、それよりも
何だ、俺のこと
考えてヤッてるのか
あんた…

あんなに可愛
い人はいないよ…
R? R?

そうだ。
私は人の語る愛とやらは
分らない。

しかし、前の件で
力を取り戻して以降、
定期的に発情の様な
症状が現れ出したんだ。

誰かを恋しく思う感情は、
これ程苦しいものなのだ。

成程、
だが、あなたには立場がある。
そうだろうか？

そうだ。
リオセスリ殿。

だが君は水の上の法の
外にいる様な男だ。
だから私は、君に賭けたいと思う

海底の要塞を治める
王とも言える君は、
この国における
唯一の例外であり

君程信頼して、
心を許せた人間は
君が唯一だ。

それ故に。
同時にまだ私の中で
不確かな感情がある。



この私の君に対する好意が、
信頼から由来するものか、
それとも愛欲から
由来するものか。

まずはこれをはっきり
させなければならぬ。
故に確かめたいんだ。

リオセスリ殿

唐突で済まないが、



私の
恋人になつて欲しい。

そして、
この感情を
確かめたい。

……まじか……





ああ、
分かったよ。



そんな綺麗な顔で、
頼まれたら真剣に
悩んじゃうだろ！



ヌヴェレットさん。

今から
俺はあんたの
恋人だ。



こうして、俺たちは
人々に知られないようにすることを
条件に、交際を始めた。

だが、恋人らしい行為といえば、
この最初の口付けのみで、
他は特に変化は無かった。

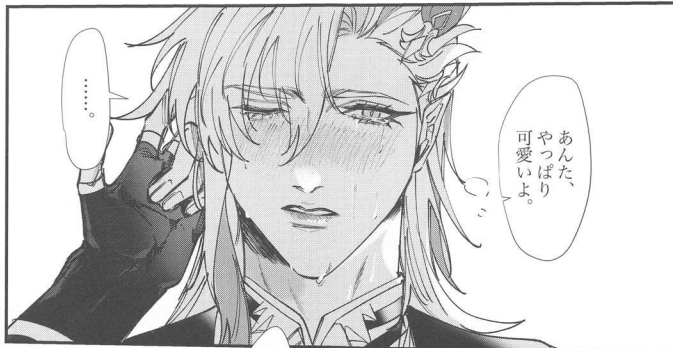




リ、
……
リオセスリ殿……っ



……



……

あんた、
やつぱり
可愛いよ。



またな。

また今度、
会いに来るよ。
ヌヴェイレットさん。

Unrequited Passion

アンリクワイテッド・パッション

三ヶ月後

パレ・メルモニア
ヌヴィレットの執務室

俺からの報告は以上だ。
これで失礼する。

リオセスリ殿。

もう帰られるか。

どうした

ヌヴィレットさん





リオセスリ殿...

何が言いたい？



一応な。

私たちは、
恋人なのだろう。

私にも非があるだろうが、
何も変わったことが無い事が
気に掛かって...

ならば
君は私のことが
好きか。

あんたといると
最近おかしくなりそう
なんだよ…



ああ



そうだよ。





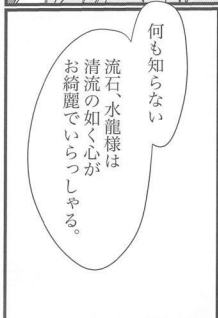
俺は
あんたのこと
好きだよ

常に襲いたくて

仕方が無いほど
にな。



リオセスリ殿…
それは、どういう
意味だ



何も知らない

流石、水龍様は
清流の如く心が
お綺麗でいらつしやる。



あんたの
そういう所だよ。



そんなあんたを
この手でめっちゃくちゃに
したい。

この穢れない身体に
男を覚えさせ、
俺のものに出来たらどんなに
最高だろうな。

だが、あんたはこのフォンテーヌの
国家元首ときた。
そんな高貴な身分のお方に、
無闇に手を出せるほど
俺は愚かな男じゃないよ。

な?!



だが俺も男だ。

一度タカが外れたら
どうなるか分からない。

もしかしたら、
あんたに辛い思いを
させてしまうかもしれない。

だから、
逆に聞かせてもらう。
ヌヴィレットさんは

俺の事、
どう思う?

俺に愛されたいか?
それとも、
この関係はもう
辞めにするか?



それは…

止めないでくれ

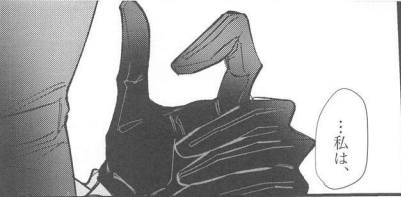


その事実は実に覆し難いものだ。それに、私は…

形式だけの関係でも

私は君の恋人として、君に会うたびに嬉しかった。胸の高鳴りを感じた。





…私は、



リオセスリ殿…



君に

恋している
んだ…

恋人になってから、
君に何もされない
日々が辛く感じた。



君を
恋しく
想った…。

私は、君に
愛されたい。

人間を愛する事等無いと考えていたが、
龍王としての自尊心も
君に愛される為なら
捨ててしまっても構わない。



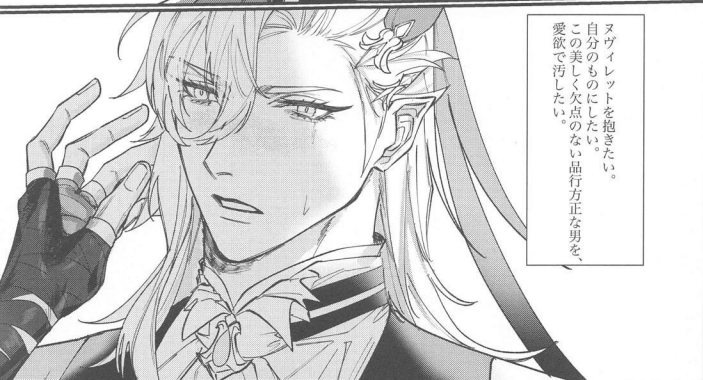
君の事を想うと、
とても胸が苦しい。

君がいなければ、
私は…



ヌヴィレット
さん…

十数年前、己を救った男が
プライドを捨てても
一人の男に愛されたいと
懇願する姿に、これ以上ない
喜びを感じる



ヌヴィレットを抱きたい。
自分のものになりたい。
この美しく欠点のない品行方正な男を、
愛欲で汚したい。







どうした

やっぱ、止めるか



その…

まだ…



リオセスリ殿…



まだ…

その様な行為は
早くないか。

確かに
恋人同士であれば
いづれ君と肉体関係を
持つこともあるだろうが…
その…っ



あんた、
何がしたい？

俺とやりたくて
仕方なかったんだろ。
あんたの身体は。

それに俺のこと散々
誘っておいて、



なああんた、
俺のこと考えて
自慰してんだろ



あんた、
本当に純粹だな。
まあそこがあんたの
可愛い所なんだが、



しかし、関係を持つには
段階を踏むべきだろう。

それは……!



だから今此処で、
あんたを抱く。

俺はあんたを抱きたい

あんたも、
それは同じだろ。



俺たちいい歳した
大人なんだから

何しようが、
遅いも早いも無い。

だがしかし、
リオセスリ殿：
その、この場でのような
破廉恥な行為は流石に
控えてもらえないか。

此処は私の
執務室だ。
このような淫な行為を
してる事がバレたら
どうするんだ。

そうだな。
このパレ・メルモニアには
まだマレシヨセファントムの
メリユジノ達も居るだろうな。
彼女等の聴力ならあなたの
喘ぎ声も筒抜けかもな。

ヌヴェレットさん。

だが、
あんたももう既に
息が荒い。
心拍数も上がってるだろう。

こんな状態で外に出ても
彼女達には即バレる。
最も、あんたが発情期なのは
既にバレてるかしかないがな。

何も言わないなら
それは同意と見做すが：
いいな？

リオセスリ殿：
……



ヌヴィレットさん。
さつきも言ったが
もう我慢の限界なんだよ



リオセスリ殿…
突然何を
する…？

変な
感覚…？



本気で……っ
君は私と交尾する
つもりか!?

私は……!!



なあ、ヌヴィレットさん。

セックスを「交尾」と
呼ぶなんて、中々可愛らしい
ところもあるじゃないか。

どうだい?
人間の雄に中を
犯されていく気分は

正直……

これほどの屈辱感
初めてだ……

君と言う男は、
実に恐ろしい。





挿れてもいいか？

そろそろ

上出来だな。



リオセスリ殿…っ

私は…っ
もう…
私はどうすればいいか
分らない…

正直人間に
愛される事をまだ
受け入れ切れて
いないんだ…

だが…君が求めるなら、
その欲求に応えたいとも
思っている…

水龍としての意志と

私人の感情は
矛盾している

だから君に愛されるのは
嬉しいが…とても苦しい…

なるほど。
それは光栄だな、

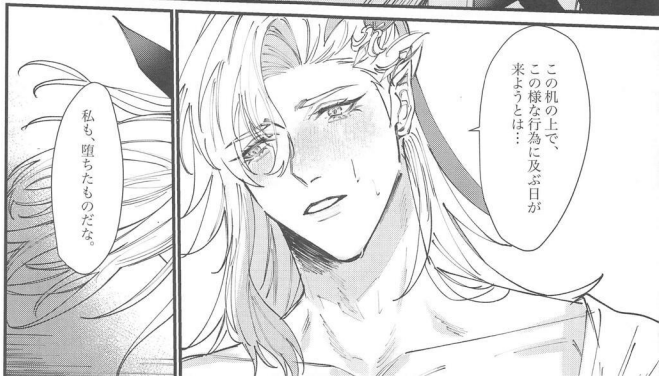
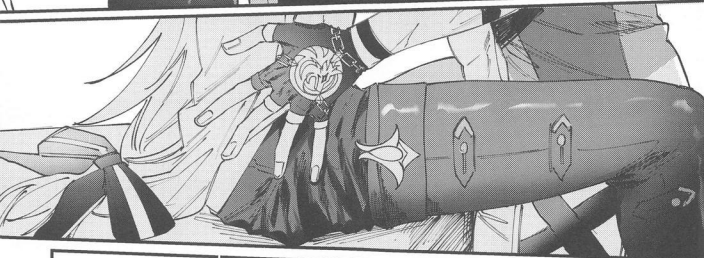
こんなに可愛い
水龍様を
味わうのに

こんな狭い場所では
勿体無いな。

もう少し広い場所に
移ろう。



こっちだ。



私も、堕ちたものだな。

この机の上で、
この様な行為に及ぶ日が
来ようとは…



不安か？



…いや、ただ

例の件で力を取り戻したと
同時に、生殖能力も得ている。

相手が男だろうと、
私は愛した人の子を産める。
この場限りの勢いで、
君と交わる事は責任も伴う。



俺はどうしても
あんたの中に入れてたい。
今更止めは無しだ。

そしたら、
念の為避妊具付けて
ヤルか？



本当に、
良いのか。

……

いや……
このまま、
続けてくれ。



だから……
リオセスリ殿。
君のものを私に
入れて欲しい。

あ、ああ。
愛する人の子であれば、
この腹に宿すことも、
私の本望であろう。



そんなこと言われたら、
本気で、俺の子を孕むまで
犯してやるよ。

俺もあまり
余裕が無いから
あんま下手な事は
言わない方がいい。

あんた、
正気か？



……
リオセスリ殿の……
これが、私の中に……

すまない……
自分以外の殿方のものを
見るのは初めてで……

あんたもこれ
見たら驚い
ちやったか……





俺のプライドに賭けて、
気持ち良くしてやるから
ほら、力を抜いて。

男とは初めてだが……
まあ、なんとかするさ。



まあ、あんまり
痛くないようには
するから

安心しな。



あーっ


んっ

んっ

んっ









リオセスリ殿：

何？
ヌヴェレットさん。

口づけをしながら
君とこうして繋がっているのが
余りにも心地よくて…



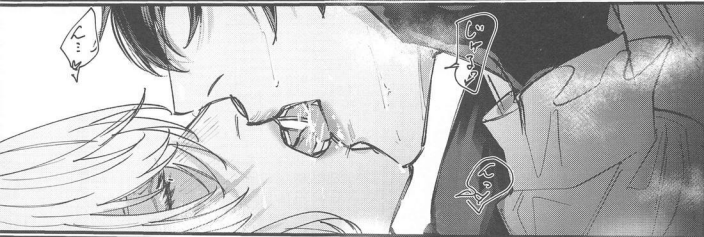
こうしていると、
全身で君の体液から
君の感情を感じられる…。



じゃあ、
もつと感じるように
してあげようか。



ほら





クソツッ：
マジでこれやべえ





ヌヴィレットさん
の中……

女とヤルより
気持ち良いじゃ
ねえか。

しかもマジで
顔が可愛い……



どうした？

せすりどの……っ

りお……

ヌヴィレットさん



もっ、

気持ち良くて……
脳が……っ
おかしくっなる……っ

リオセスリ殿……

子育んたえ
かやも……

下腹部が熱い……

気持ち良いっ
リオセスリどの……♡



その愛らしい声で
俺の名前を呼んでくれるなよ。
ヌヴェレット。

あんた本当に
処女なのか？

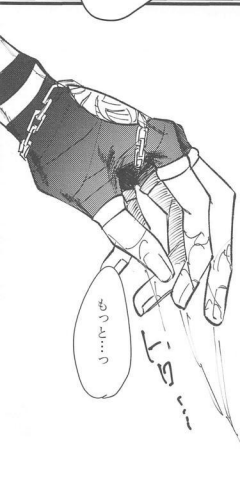
そんなに可愛い声で
啼いちやつて

余計に性欲が煽られて
理性が持たねえ
んだよ……



本気であんた
孕ませるまで
やってやろうか？

あんたは俺を
どうしたい？





もっと…
君が欲しい。

君と

もっと深く
君の子を
孕むまで

ずっと
繋がりたい…



最高審判官様が
がこんな
ビッチだとはねえ。

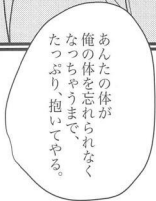



ああ、クソッ
もう我慢出来ねえ




どんだけ
俺の劣情を煽ってくれんだよ。







番として、俺を選んでくれて
嬉しいよ。
最高審判官であるあんたを、
俺のものにできるんだ。



もう俺に、
恐れるものは無い。

なあ、
ヌヴィレット。

おまけ???

公爵の2人の子に母を討つ
公爵の娘に母を討つ
最高審判官
かわいい〜ね♡子種がほしいんだね♡

リオセスリ殿：
今後は会える頻度を
増やせないだろうか？

君と一晚過してから、
余計に性欲が
増してしまっ、

ヌヴィレットさんが
こんなに
積極的になるのは
誤算だったな…

とても月一では
耐えられない。

でもまじで
可愛い…

ああ、
考えとくよ。







↑ Wavebox

感想やスタンプなどお気軽にこちらからどうぞ

『Unrequited Passion - アンリクワイテッド・パッション』

Presented by INVINCIBLE
Emma

2024-03-17
HARU COMIC CITY32
神の叡智15

E-Mail: strawberry.artr@gmail.com
Twitter: [@_coeur_Am](https://twitter.com/_coeur_Am)

印刷所: 金沢印刷様

この本は個人が非公式に発行したものです。実在の人物、作品、制作会社、原作者とは一切関係ありません。無断転載、複製、複写、インターネットへのアップロード（ソーシャルメディア、ネットオークションなど）、中古書店等への転売を禁止します。必要なくなった場合は一般の方の目に触れないような方法で廃棄をお願いします。

This book has been published unofficially by an individual. There is no connection with any real person, work, production company, or original author. **Unauthorized reproduction, duplication, copying, uploading to the Internet (social media, online auctions, etc.), and resale to used bookstores, etc. are prohibited.** If you no longer need it, please dispose of it in a way that does not allow it to be seen by the general public.

GENSHIN IMPACT UNOFFICIAL FANBOOK
WRIOTHESELEY × NEUVILLETTE